

精神疾患と自死（自殺）の定義

働く者のメンタルヘルス相談室

理事長 伊福 達彦

精神疾患の定義

1. 原因及び発症の契機

「精神疾患とは、生物学的な因子、すなわち遺伝子や脳といった因子と心理的な問題、そして社会的な問題が混然一体となって起きている」加藤忠文著「岐路に立つ精神医学」 p 46

2. 定義

「心の病気とは、典型的な脳の心身症であり、生活習慣病なのです。天性の資質に無理のない、相性の良い脳の生活習慣に変えることで、脳という体は自然治癒、すなわち自らを修復していくのです。」神田橋條治「現場からの治癒論」という物語 p 67

自死（自殺）の定義

「ひとり安楽死」（1人で判断し、実行される、安楽死）この定義が日本人の自死の多くに当てはまる

「自殺も、自らの手で行う一種の安楽死であろう。苦痛、苦悩を死によって免れる方法である。ただそれが治癒しがたいものであるかどうかという断定が、本人 1 人の判断にかかっている点で、医師の客観的判断による安楽死とは違うことになる。」唐木順三著「自殺について」 p 3

ヘミングウェイ一族は、苦痛を伴う何らかの出来事に遭遇したとき、安楽死がそれを回避するための手段となって選択される傾向が強い（「自殺した子どもの親たち」 p 160）

人生のリセットの手段が安楽死になっていることはなぜか。これが課題